

5. 用語の解説

【あ 行】

IoT

Internet of Things（モノのインターネット）の略。

あらゆるモノをインターネットに接続し、モノから得た情報を収集、分析することにより様々なサービスや製品に活用する技術。

アセットマネジメント

直訳すると資産管理の効率的な運用。

上下水道事業においては、中長期的な視点で将来の資産健全度や財政収支を見通し、重要度・優先度を踏まえた投資の平準化を図ることにより、効果的・効率的に資産を管理運営する、体系化された実践活動。

荒川右岸流域下水道

県が事業主体の荒川右岸流域10市3町（川越市・入間市・狭山市・ふじみ野市・富士見市・所沢市・志木市・新座市・朝霞市・和光市・吉見町・川島町・三芳町）を処理区域とする下水道。

荒川右岸流域関連川越公共下水道事業計画

荒川右岸流域下水道に流入する川越市管理の下水道（流域関連公共下水道）について、全体計画に定められた施設のうち、5～7年間で実施する予定の施設の整備内容等を定めた計画。

下水道施設の設置、点検の頻度・方法を示すとともに、機能維持に関する中長期的な方針等を示している。

一般会計

国、自治体における会計のうち、特別会計を除くすべての歳入歳出。

一般会計と分けて特別に支出と収入を会計するものを特別会計という。

水道事業や下水道事業は、地方公共団体が経営する公営企業として規定されるため、市の一般会計とは別に独立した川越市水道事業会計及び川越市公共下水道事業会計を設けて財政運営を行っている。

AI

artificial intelligence（人工知能）の略。

言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピューターが行う技術。

NOx

一酸化窒素（NO）、二酸化窒素（NO₂）などの燃焼によって発生する窒素酸化物の総称。主な発生源は、自動車の排気ガスであり、光化学スモッグや酸性雨などを引き起こす大気汚染原因物質とされている。

塩化ビニル管

塩化ビニル樹脂を原料として製作された管材。
上水道・下水道で共に使用されている。

【か 行】

可とう性

外力に対して、たわみ変形する性質。

川越市雨水管理総合計画

下水道による浸水対策を実施するうえで、当面・中期・長期と段階を分けて、浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的な事項を定めた計画。

川越市環境マネジメントシステム

公共施設の全体目標として、電力使用量やガソリンなどの燃料使用量、コピー用紙購入量などに含まれる資源の削減を挙げ、これらの達成に向けた取組体制や手続きなどの仕組み。

本市は、環境に関する取組の基本理念、基本方針として「川越市環境方針」を定め、市の事業活動が環境に与える影響を継続的に改善している。

川越市下水道総合地震対策計画

「川越市地域防災計画」に基づき、緊急輸送道路の早期復旧や軌道下及び河川横断管路の流下機能の確保等の対策を定めた、計画期間5年間（2017年度～2021年度）の計画。

川越市合流式下水道緊急改善計画

合流式下水道において、一定量以上の降雨時に未処理下水の一部がそのまま放流されることに対し、公衆衛生・水質保全・景観上の観点から、放流回数の軽減や夾雑物の流出抑制などの改善策を示した計画。

川越市上下水道局震災等防災計画

「川越市地域防災計画」に準拠して、地震などの災害時における上下水道施設の迅速な機能確保や、応急給水、復旧作業などの活動を詳細かつ実践的な内容として策定した計画。

川越市上下水道事業経営審議会

本市の水道事業及び公共下水道事業の経営に関する事項について審議する機関。

委嘱期間2年の委員（学識経験者・市内の公共的団体等の代表者・市内在住の水道又は公共下水道を使用している方の代表者）で構成されている。

川越市上下水道事業中期経営計画

上下水道の整備、適正な維持管理及び経営基盤の強化を目的とした、計画期間5年間（2015年度～2019年度）の基本的な計画。

川越市地域防災計画

本市において発生のある可能性のある地震災害、風水害及び大規模事故災害に対応することを目標として策定された計画。

川越市地球温暖化対策実行計画

地球温暖化の防止に向けて総合的かつ計画的に対策を推進していくために、本市が目指す温室効果ガス排出量の削減目標と、実現に向けた市の施策、市民・事業者の具体的な取組などを定めた計画。

川越市内水ハザードマップ

自然災害による浸水被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路といった防災関係施設の位置などを表示した地図。

幹線

汚水や雨水の排水を行ううえで、基幹となる比較的口径の大きい管路。

基幹管路

水道事業において基幹となる管路。

導水管、送水管、配水本管が該当する。

- 導水管・・・水道施設のうち、河川や井戸などの取水施設から得た水を浄水施設まで導く管。
- 送水管・・・水道施設のうち、浄水施設から配水池までなど、施設間で送水を行う管。
- 配水本管・・・道路下に網目状に配置された配水管網のうち、主要な管路で、給水管への分岐がない管。本市においては口径400mm以上の管が該当する。
また、配水本管から受けた浄水を給水管に分岐する管を配水支管という。

給水人口

給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口。

給水区域外からの通勤者や観光客は給水人口には含まれない。

給水栓

給水管の末端に取り付けられ、水を出したり止めたりする給水用具。
蛇口等のこと。

業務継続計画（BCP）

business continuity plan の略。

災害発生時など、人材や資材に制約がある状況下でも適切に業務を進めるために備えておく計画。

被害想定や、優先すべき業務の整理、人員の配置案などをあらかじめ定めておく。

きょうどつぶつ 夾雑物

下水に含まれる固形物で、管きょ内の堆積物の原因となる物質。

雨水吐き室やポンプ場の放流先では、雨天時にビニル、合成樹脂、ゴム、皮革類、草木、わら類などが散乱し、景観上の問題が生じる場合がある。

緊急遮断弁

地震などの異常を感知すると、自動的に緊急閉止できる機能を持った弁。

遮断弁が閉止することで、配水池からの水道水の流出を防ぎ、災害時の生活用水を確保できる。

緊急輸送路

災害時における円滑な避難、救急・消防活動の実施、避難者への緊急物資の輸送などを行うために、県や市が指定している道路。

経営戦略

総務省が策定を求めている「投資・財政計画」を中心とする中長期的な経営の基本計画。計画の策定により、公営企業の経営基盤の強化を図ることを目的としている。

県水の直送方式

配水池を介さず直接県水の圧力により給水する方式。

配水池の設備更新費用の削減、電力料金などの経費縮減及び二酸化炭素排出量の削減が期待される。

建設副産物

建設発生土など建設工事に伴い副次的に得られる物品の総称。

具体的には、建設現場に持ち込んで加工した資材の残りや、現場内で発生した物の中で工事中あるいは工事終了後その現場内では使用の見込みがないものをいう。

公営企業（地方公営企業）

地方公共団体が、住民の福祉の増進を目的として設置し、経営する企業。

一般行政事務に要する経費が租税によって賄われるのに対し、公営企業は、提供するサービスの対価である料金収入等によって維持される。

合流式下水道

汚水と雨水を同じ管きょ系統で排除する下水の排除方式。

汚水管、雨水管を布設する分流式下水道に比べ、管きょが1本となり建設費が安くなることや、ガス管などの他の地下埋設物との競合が少なくなり施工が比較的容易になるなどのメリットがある。

戸別音聴調査

音聴棒を各給水使用者の水道メーターや止水栓などに直接接触させて、漏水音の有無を確認する調査方法。

【さ 行】

残留塩素

水道水の中に、消毒効果をもつ有効塩素として消失せずに残留している塩素化合物。

水道法では給水栓における水が、遊離残留塩素を0.1mg/L（結合残留塩素の場合は0.4mg/L）以上保持することとされている。

G I S

Geographic Information System（地理情報システム）の略。

地理的位置情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にするシステム。

収益的収支

地方公営企業の経常的企業活動に伴い、年度内に発生が見込まれるすべての収益（料金収入など）とそれに対応するすべての費用（減価償却費のように現金支出を伴わない費用を含む）。

収益的収支に対し、施設の整備や企業債の償還元金等の支出と、これに要する資金としての企業債や工事負担金などの収入を資産形成に係る収支として資本的収支という。

受益者負担の原則

公共サービスなどの事業によって利益を受ける人が、利益の度合いに応じて、その事業にかかる費用を負担すべきであるという考え方。

重要施設配水管

「川越市地域防災計画」に位置付けられた地域防災拠点、避難場所、救急医療施設等へ配水する管、及び一部の緊急輸送道路に埋設されている管。

優先して耐震化工事を実施する。

処理人口（污水）

生活排水を公共下水道や合併処理浄化槽、農業集落排水等の手法により適切に処理することが可能な人口。

本編では、公共下水道による処理可能人口として扱っている。

新下水道ビジョン

国土交通省によって策定された、下水道の使命、長期ビジョン、及び長期ビジョンを実現するための当面の目標と具体的な施策などが示された計画。

震災等防災対策行動マニュアル

「川越市地域防災計画」などに基づいて作成された、地震などの災害発生時に必要な対応手順などを定めたもの。

新水道ビジョン

厚生労働省によって策定された、水道を取り巻く環境の大きな変化を踏まえ、50年後、100年後の将来を見据えた水道の理想像の明示や、取組の目指すべき方向性やその実現方策、関係者の役割分担が示された計画。

浸透施設（雨水）

雨水を、地表あるいは地下の浅い所から地中に浸透させる施設。

浸透ます、道路浸透ます、浸透トレンチ、浸透側溝、透水性舗装、空隙貯留浸透施設のこと。

水洗化人口

生活排水を公共下水道や合併処理浄化槽、農業集落排水等の手法により適切に処理している人口。

本編では、公共下水道によって処理している人口として扱っている。

ストックマネジメント

上下水道事業の役割を踏まえて、持続可能な事業の実施を図るために、明確な目標を定め、膨大な施設の状況を客観的に把握・評価し、中長期的な施設の状態を予測しながら、上下水道施設を計画的かつ効率的に管理する手法。

スマートメーター

水道使用量を測定し電子データとして遠隔地に送ることができるメーター。

従来の機械式メーターとは異なり、検針員によるメーターの読み取り作業が不要になることから、人件費や業務負担の軽減になるだけでなく、水道使用量の見える化により家庭での節水の促進や高齢者見守りサービスへの適用も期待される。

生活排水処理基本計画

公共用水域の水質改善と環境保全のため、行政区域内の生活排水処理を公共下水道、農業集落排水及び合併処理浄化槽で整備する区域に分けて、2025年度までにそれぞれの整備を完了させることを目標として、「川越市一般廃棄物処理基本計画」の中で「生活排水処理基本計画」編として策定された計画。

生活用水量

一般家庭で使用される水（生活用水）の量。

主にトイレ、風呂、炊事、洗濯で使われる水が該当する。

【た 行】

第四次川越市総合計画

市民と行政にとって、まちづくりを進める指針となるものであり、目指すべき都市像を描き、その実現に向けた目標や必要な方策を定めた、計画期間10年間（2016年度～2025年度）の計画。

ダクタイル鑄鉄管

鑄鉄を原料として製作された管材。

腐食しにくいことや、強靱性に優れた性質があり、特に水道管として多く使用されている。

【な 行】

内 水

堤防の内側（市街地側）にある水路、排水路、側溝などの水。

河川の水は、外水という。

農業集落排水（事業）

農業振興地域内の農業集落の生活環境の向上・農業用水の水質保全などを目的として、各家庭のトイレ・台所・風呂などから出た汚水を集め、きれいにして川に戻す施設を整備する事業。

【は 行】

配水区域のブロック化

配水区域を適当な広さに分割して管理すること。

ブロック化の利点としては、水圧の均等化、現況把握の容易性、平常時の配水管理と維持管理の向上、非常時対応の向上などが挙げられる。

配水用ポリエチレン管

ポリエチレン樹脂を原料として製作された管材。

柔軟で軽く、耐食性に優れている。

吐 口

分流雨水管や合流式下水道管において、公共用水域に雨水を放流するための施設。

BOD

biochemical oxygen demand（生物化学的酸素要求量）の略。

水中の微生物が20℃、5日間で有機物を分解するときに消費する酸素の量。

数値が大きくなるほど汚濁していることを示しており、水質汚濁の一般指標として用いられる。

P M

particulate matter（粒子状物質）の略。

マイクロメートル（ μm ）の大きさの固体や液体の微粒子。

PPP

Public-Private-Partnership（官民連携）の略。

公的機関と民間事業者がパートナーとなり協力して公共事業を行う手法。

不明水

下水道管へ浸入している雨水や地下水等。

分流式下水道

汚水と雨水を別々の管きょ系統で排除する下水の排除方式。

汚水は雨水と分離して排除され下水処理施設で処理されるため、公共用水域への汚水の流出がなくなることや、施設が小型化できるなどのメリットがある。

弁栓（類）・弁室

配管を流れる水の流れを制御する装置（弁）や、配管の途中でそれより先に行くのを止める装置（栓）で、バルブ、コック、キャップ、プラグなどの総称。

弁栓類を収納するため道路下地中に設置するバルブボックスを弁室・弁きょうという。

包括的民間委託

地方公共団体などが必要な監督権を留保したうえで、その営業業務を包括的に民間企業などに委託すること。

本市は、水道料金及び下水道使用料の収納に係る業務と電子計算処理業務を委託している。

【ま 行】

マンホールカード

マンホール蓋の写真とデザインに関する情報等を掲載したカード型の下水道広報用パンフレット。

全国統一規格のコレクションカードであり、本市は2017（平成29）年4月から配布している。

マンホールトイレ

災害時用として、下水道管路にあるマンホールの上に設置する簡易なトイレ。

水安全計画

水道の水質に影響を及ぼす可能性がある全ての危害を抽出・特定し、それらを継続的に監視・制御することにより、安全な水の供給を確実にするシステムづくりを目指した計画。

安全性の向上、維持管理の効率化、管理の一元化・統合化などが期待される。

【や 行】

有収率

水道の総配水量や、汚水の処理量に対して、料金・使用料の徴収対象となった水量（有収水量）の割合。

【ら 行】

ライフサイクルコスト

企画・設計・施工・運用・維持管理・補修・改造・解体・廃棄に至るまでに必要なトータルコスト。

初期建設費であるイニシャルコストと、エネルギー費、保全費、改修・更新費などのランニングコストにより構成される。

老朽管更新計画

布設後長期間が経過し、不具合が生じてきた管路に対して、その機能を回復するための布設替または更生を行う計画。



かし



山吹



雁(かり)

平成 31 年 3 月



川越市上下水道局

〒350-0054

埼玉県川越市三久保町20番地10

電 話：049-223-3061 (代表)

ファクス：049-223-3078